

{ デザイン思考による }

# 課題発見型 ものづくり勉強会への 参加企業を募集します。

何を創るかを考えるのではなく、  
どうやって作るかではなく、  
勉強会です。

県内ものづくり企業の新たな価値・製品の創出に向けた勉強会を行います。今回は農業分野をテーマとして設定しました。新しい製品開発手法に取り組んでみたい、新規分野への参入のきっかけづくり・芽だしを行いたいという企業の皆さん、ぜひご参加ください。

{ こんな企業におすすめ }

- ・価値を創出する手法【デザイン思考】にチャレンジしてみたい。
- ・新規分野参入へのきっかけづくり・芽だしを行いたい。
- \*農業をテーマにしていますが、異分野からの参加も歓迎します。

テーマ：農業との新しい関わり方を提案するもの

対象：県内ものづくり企業全般／定員：8名程度

日時：第1回 10月18日 13:00～17:00 (全6回)

会場：山形県工業技術センター ものづくり創造ラボ

講師：株式会社コンセント 長谷川敦士氏、赤羽太郎氏

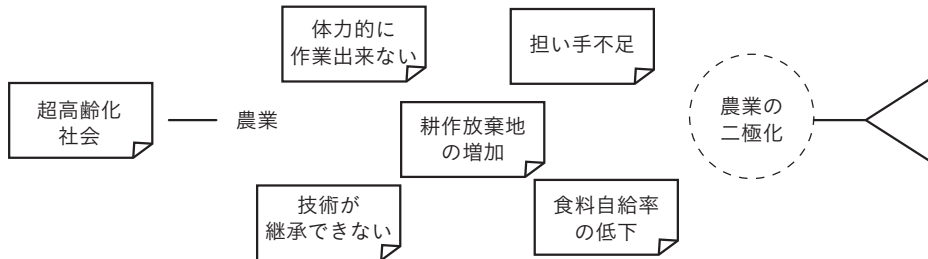
山形県工業技術センター 職員

申込締切  
10月10日(火)  
参加費無料

## { テーマについて }

### 農業との新しい関わり方を提案するもの

超高齢化社会が現実のものとなりつつある昨今、大きな課題の一つとして挙げられるのが「農業の未来」です。農業人口の減少や技術が継承できなくなるなどの課題の末には“大規模な工業的農業”と“小規模の新しい農業”の二極化が考えられます。今回はこの“小規模の新しい農業”に県内ものづくり企業にとっての新しいターゲットとマーケットが存在するのではないか？という仮説を立てました。



大規模な工業的農業

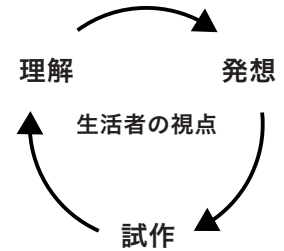
小規模の新しい農業

{ 新規就農者・移住者・新兼業農家など }  
「作る喜びを感じながら」、「ストーリーをシェアしながら」など、農業との新しい関わり方が重要になってくる。

## { 正解のない課題に取り組むために }

### イノベーションを生む手法として注目される【デザイン思考】

デザイン思考とは、生活者の視点を中心に発想する思考法です。生活者の状況を理解・共感するところから、仮説を立て、アイデアを創出し、プロトタイプを作って検証する、という試行錯誤を繰り返して改善を重ねながらモノ(製品/サービス)を創り出します。チームを組んで行うことで、何倍もの力を発揮すると言われています。デザイン業界だけではなく、正解のない課題に取り組む手法として、様々な分野のビジネスの場で注目されています。



【 デザイン思考 】

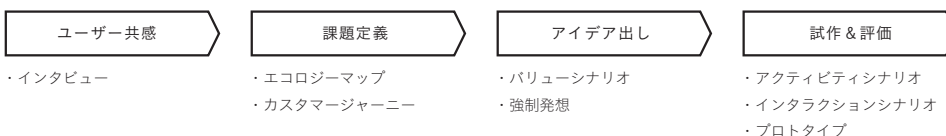
## { 進め方と目標 }

参加者は2つのチームに分かれてデザイン思考による開発手法に取り組み、

新たな方向性のプロトタイプや事業シナリオ案を作成します。

平成29年10月より3週間に1回のペースで開催(基本的に水曜日、13時~17時)

①10/18, ②11/8, ③11/29, ④12/20, ⑤1/10, ⑥1/31



勉強会のイメージ

外部講師：株式会社コンセント 長谷川敦士氏：代表/インフォメーションアーキテクト。上山市出身。デザイン思考を活用して、事業開発やコミュニケーションデザインを実践。 赤羽太郎氏：サービスデザイナー。顧客視点での新規サービス事業開発や体験デザイン、またそれを生み出す組織やプロセスをつくるコンサルティングに従事。www.concentinc.jp

## { お申込み・問合せ先 }

締切10月10日(火)

「企業名/役職/参加者名/住所連絡先」を明記の上、  
メールにてお申込みください。yrit@yrit.pref.yamagata.jp

山形県工業技術センター企画調整部連携支援室(境・月本)

〒990-2473 山形市松栄2-2-1

TEL 023-644-3222 / FAX 023-644-3228

http://www.yrit.pref.yamagata.jp/